



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月7日

上場会社名 メディアスホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3154 URL <https://www.medius.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池谷 保彦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理統括本部長 (氏名) 芥川 浩之 (TEL) 03-6811-2958
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	115,807	5.5	1,097	△34.5	1,342	△30.4	859	△39.9
2022年6月期第2四半期	109,721	10.6	1,675	46.1	1,928	38.7	1,429	50.2

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 652百万円(△61.0%) 2022年6月期第2四半期 1,671百万円(52.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	39.19	39.07
2022年6月期第2四半期	65.37	65.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	99,471	17,543	17.6
2022年6月期	92,953	17,307	18.6

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 17,543百万円 2022年6月期 17,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2023年6月期	—	0.00			
2023年6月期(予想)			—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

具体的な内容につきましては、本日(2023年2月7日)公表の「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	230,000	3.7	1,300	△42.7	1,750	△36.5	1,100	△41.1	50.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

具体的な内容につきましては、本日(2023年2月7日)公表の「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年6月期2Q	21,925,104株	2022年6月期	21,925,104株
2023年6月期2Q	958株	2022年6月期	958株
2023年6月期2Q	21,924,146株	2022年6月期2Q	21,871,906株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	11
(セグメント情報)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、ワクチン接種及び医療機関における感染対策の進展に伴い新型コロナウイルスによる医療機関への影響は軽減されつつあるものの、断続的な感染拡大が続いており、また、ウクライナ情勢による資源価格の高騰や為替変動による物価上昇等の影響に起因するコスト増加も懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは医療機関の医療体制維持のため、全社員で感染拡大防止に努めながら、製品の安定供給及び顧客の課題解決に取り組むことを方針として事業活動を行っております。

当第2四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発令されていた期間を含む前年同四半期と比較して、医療需要が回復したこと及び新規施設における販売により手術室関連製品等の販売が好調に推移いたしました。加えて、PPE(個人用防護具)等の感染対策に関わる製品の販売も好調を維持いたしました。また、前期に受託したSPDにおける販売も医療機器販売事業の増収に貢献しております。売上総利益においては、ウクライナ情勢や円安の影響を受け、売上原価が増加したものの、営業活動強化に伴う収益改善や増収に伴い拡大しております。

他方、販売費及び一般管理費については、主要子会社における事業規模拡大に伴う人員採用や営業拠点の開設、移転があったことに加え、感染対策を念頭に置きながらも営業活動等を活発化させたこと及び、(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等が発生していることで前年同四半期と比較して増加しております。なお、特別利益において113百万円を計上しておりますが、主たる要因は投資有価証券の売却益であります。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は115,807百万円(前年同四半期比5.5%増)、営業利益は1,097百万円(同34.5%減)、経常利益は1,342百万円(同30.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は859百万円(同39.9%減)となりました。

(注) SPD

Supply Processing & Distributionの略語で、病院が医療材料の物流管理を外注化し、病院所有の在庫の削減、病院側の物品管理作業の軽減を図るシステムのことであります。SPDの運用は、病院との契約により、医療機器販売会社又は専業の会社が行います。当社グループにおきましては、連結子会社である協和医科器械(株)・(株)栗原医療器械店・(株)ミタス・(株)秋田医科器械店・メディアスソリューション(株)及び持分法非適用の関連会社である(株)エヌエイチエス静岡が行っております。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①医療機器販売事業

医療機器販売事業における消耗品につきましては、新型コロナウイルスの検査に係る試薬は需要の落ち着きに伴い販売が減少したものの、PPE(個人用防護具)の販売は引き続き好調に推移し、手術室関連製品の販売が拡大したことに加え、前期に受託したSPDに関する販売により、売上高及び売上総利益は前年同四半期と比較して増加しました。備品につきましても、医療機関における設備投資が活発化してきており、放射線機器等の大型備品の販売により好調に推移しました。一方、事業規模拡大に伴うコスト増加や(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費等の発生により、セグメント利益は減益となりました。

この結果、売上高は113,086百万円(前年同四半期比5.7%増)、売上総利益は13,367百万円(同7.7%増)、セグメント利益(営業利益)は、4,570百万円(同3.4%減)となりました。

②介護・福祉事業

介護・福祉事業につきましては、介護機器のレンタル事業が低調に推移したことで、前年同四半期と比較して売上高及び売上総利益は減少いたしました。また、(株)栗原医療器械店における新物流センターに係る減価償却費の発生等により販売費及び一般管理費が増加したことで、セグメント利益につきましても減益となりました。

この結果、売上高は2,720百万円(前年同四半期比0.4%減)、売上総利益は1,053百万円(同0.2%減)、セグメント利益(営業利益)は、196百万円(同29.4%減)となりました。

(注)当社グループのセグメントは、次のとおりであります。

医療機器販売事業……(医療機器販売事業)

国内の医療機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた医療機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設に販売しており、当社グループの基幹となる事業であります。

(医療機器の修理及びメンテナンス事業)

当社グループが病院等医療施設に販売した医療機器の修理及びアフターサービス、病院等医療施設との保守契約に基づく医療機器全般のメンテナンスを行っております。

介護・福祉事業……… 国内外の介護福祉機器メーカー・代理店・商社等より仕入れた介護福祉機器(備品・消耗品)を、国内の病院等医療施設及び介護施設並びに医療機器販売業者、一般個人に販売しております。また、介護福祉機器の一般個人へのレンタルを行っております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末から6,518百万円増加し、99,471百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末から6,736百万円増加し、78,290百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が6,098百万円、商品及び製品が1,121百万円それぞれ増加した一方で、流動資産その他が368百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末から218百万円減少し、21,181百万円となりました。これは有形固定資産が168百万円増加した一方で、無形固定資産が97百万円、投資その他の資産が288百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から6,282百万円増加し、81,928百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末から5,922百万円増加し、73,445百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3,162百万円、短期借入金が3,955百万円それぞれ増加した一方で、未払法人税等が1,290百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末から359百万円増加し、8,483百万円となりました。これは主に長期借入金が392百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から235百万円増加し、17,543百万円となりました。これは主に利益剰余金が442百万円増加した一方で、その他有価証券評価差額金が215百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ127百万円減少し、8,939百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,333百万円の支出(前年同期は3,531百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、税金等調整前四半期純利益1,442百万円、仕入債務の増加額2,464百万円等の収入要因が、売上債権の増加額5,630百万円、法人税等の支払額1,838百万円等の支出要因を下回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、291百万円の支出(前年同期は2,415百万円の支出)となりました。

主な要因としましては、投資有価証券の売却による収入216百万円等の収入要因が、有形固定資産の取得による支出282百万円、長期前払費用の取得による支出252百万円等の支出要因を下回ったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,496百万円の収入(前年同期は5,996百万円の収入)となりました。

主な要因としましては、短期借入金の純増額3,998百万円、長期借入れによる収入600百万円等の収入要因が、長期借入金の返済による支出647百万円、配当金の支払額415百万円等の支出要因を上回ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年8月5日に公表しました業績予想につきましては、修正を行なっております。具体的な内容につきましては、本日(2023年2月7日)公表の「連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,105,819	8,991,115
受取手形及び売掛金	47,134,159	53,233,107
商品及び製品	11,505,256	12,626,671
原材料及び貯蔵品	15,221	11,929
その他	3,884,973	3,516,950
貸倒引当金	△91,522	△89,726
流動資産合計	71,553,906	78,290,048
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,198,972	6,216,370
機械装置及び運搬具（純額）	965,453	896,586
土地	3,111,833	3,291,308
その他（純額）	712,992	753,121
有形固定資産合計	10,989,251	11,157,387
無形固定資産		
のれん	1,026,131	935,219
その他	1,104,638	1,097,940
無形固定資産合計	2,130,770	2,033,160
投資その他の資産		
その他	8,988,492	8,027,347
貸倒引当金	△708,579	△35,997
投資その他の資産合計	8,279,912	7,991,349
固定資産合計	21,399,934	21,181,896
資産合計	92,953,841	99,471,944

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	50,363,249	53,525,300
短期借入金	12,328,047	16,283,886
1年内償還予定の社債	7,000	7,000
未払法人税等	1,673,501	382,823
賞与引当金	40,785	40,691
役員賞与引当金	131,879	25,000
資産除去債務	9,912	9,912
その他	2,967,998	3,170,609
流動負債合計	67,522,374	73,445,223
固定負債		
社債	22,000	18,500
長期借入金	5,459,541	5,852,520
債務保証損失引当金	98,999	94,824
株式報酬引当金	42,327	45,814
退職給付に係る負債	1,323,097	1,402,890
資産除去債務	135,985	136,077
その他	1,041,751	932,824
固定負債合計	8,123,702	8,483,452
負債合計	75,646,076	81,928,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,344,769	1,344,769
資本剰余金	2,671,008	2,671,008
利益剰余金	11,610,668	12,053,390
自己株式	△450	△450
株主資本合計	15,625,996	16,068,718
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,744,163	1,529,134
退職給付に係る調整累計額	△62,395	△54,583
その他の包括利益累計額合計	1,681,768	1,474,550
純資産合計	17,307,764	17,543,268
負債純資産合計	92,953,841	99,471,944

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日)
売上高	109,721,349	115,807,217
売上原価	96,256,167	101,385,568
売上総利益	13,465,182	14,421,648
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△9,809	△13,103
株式報酬引当金繰入額	△3,397	6,482
給料及び手当	4,884,181	5,384,171
従業員賞与	1,196,970	1,260,185
賞与引当金繰入額	37,460	40,691
役員賞与引当金繰入額	21,350	25,000
退職給付費用	243,860	272,394
法定福利費	942,756	1,027,197
減価償却費	259,428	536,712
賃借料	960,401	1,072,916
業務委託費	1,044,085	1,187,166
その他	2,212,444	2,524,493
販売費及び一般管理費合計	11,789,731	13,324,307
営業利益	1,675,450	1,097,341
営業外収益		
受取利息	2,145	952
受取配当金	28,392	51,170
仕入割引	164,358	155,655
持分法による投資利益	16,672	-
債務保証損失引当金戻入額	8,208	4,174
その他	68,366	93,634
営業外収益合計	288,144	305,588
営業外費用		
支払利息	31,399	43,295
持分法による投資損失	-	7,659
その他	3,962	9,865
営業外費用合計	35,362	60,819
経常利益	1,928,232	1,342,110
特別利益		
固定資産売却益	3,905	4,848
投資有価証券売却益	-	108,328
特別利益合計	3,905	113,177
特別損失		
固定資産売却損	-	1,840
固定資産除却損	3,348	1,069
減損損失	-	9,916
特別損失合計	3,348	12,826
税金等調整前四半期純利益	1,928,790	1,442,460
法人税、住民税及び事業税	527,344	368,756
法人税等調整額	△28,416	214,423
法人税等合計	498,927	583,180
四半期純利益	1,429,862	859,280
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,429,862	859,280

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,429,862	859,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233,399	△215,029
退職給付に係る調整額	8,391	7,812
その他の包括利益合計	241,790	△207,217
四半期包括利益	1,671,653	652,062
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,671,653	652,062

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,928,790	1,442,460
減価償却費	391,172	710,516
のれん償却額	103,319	102,148
減損損失	-	9,916
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	37,743	53,764
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,759	△12,230
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,938	△14,791
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	21,350	△106,879
株式報酬引当金の増減額(△は減少)	△139,459	3,486
受取利息及び受取配当金	△30,537	△52,123
支払利息	31,399	43,295
株式交付費	1,062	-
固定資産売却損益(△は益)	△3,905	△3,007
固定資産除却損	3,348	1,069
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△108,328
持分法による投資損益(△は益)	△16,672	7,659
役員退職慰労金	-	△50,009
売上債権の増減額(△は増加)	△5,688,747	△5,630,313
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,061,586	△983,567
リース投資資産の増減額(△は増加)	24,093	22,831
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△358,120	247,116
仕入債務の増減額(△は減少)	2,461,820	2,464,393
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△8,208	△4,174
未払消費税等の増減額(△は減少)	△321,088	291,881
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△90,483	△146,381
その他	567	△7,043
小計	△2,737,842	△1,718,308
利息及び配当金の受取額	28,591	51,377
利息の支払額	△32,981	△44,017
法人税等の支払額	△915,021	△1,838,645
法人税等の還付額	126,142	216,259
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,531,111	△3,333,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△18,714	△18,714
定期預金の払戻による収入	37,096	37,096
有形固定資産の取得による支出	△2,301,918	△282,114
有形固定資産の売却による収入	6,801	41,205
有形固定資産の除却による支出	△328	△0
無形固定資産の取得による支出	△99,726	△112,061
投資有価証券の取得による支出	△8,388	△8,884
投資有価証券の売却による収入	-	216,423
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	170,226	65,541
貸付金の回収による収入	11,396	13,050
長期前払費用の取得による支出	△177,463	△252,433
敷金及び保証金の差入による支出	△160,372	△60,512
敷金及び保証金の回収による収入	137,697	75,921
保険積立金の積立による支出	△7,138	△15,053
保険積立金の解約による収入	-	9,739
その他	△4,914	△296
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,415,747	△291,094

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	6,123,038	3,998,536
長期借入れによる収入	1,000,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△747,137	△647,203
株式の発行による収入	117,936	-
リース債務の返済による支出	△40,564	△38,744
配当金の支払額	△456,337	△415,688
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,996,935	3,496,900
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	50,077	△127,529
現金及び現金同等物の期首残高	12,584,421	9,067,024
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,634,498	8,939,494

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当第2四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である(株)アクティブメディカルが2022年10月4日付でノアインターナショナル(株)の全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めております。

なお、同社は2022年10月1日をみなし取得日としております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	106,989,440	2,731,908	109,721,349	—	109,721,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	106,989,440	2,731,908	109,721,349	—	109,721,349
セグメント利益	4,732,717	278,354	5,011,072	△3,335,621	1,675,450

- (注) 1. セグメント利益の調整額△3,335,621千円には、セグメント間取引消去10,461千円、のれん償却額△103,319千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,242,764千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	医療機器 販売事業	介護・福祉事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,086,398	2,720,819	115,807,217	—	115,807,217
セグメント間の内部売上高 又は振替高	81	—	81	△81	—
計	113,086,479	2,720,819	115,807,299	△81	115,807,217
セグメント利益	4,570,965	196,621	4,767,586	△3,670,245	1,097,341

- (注) 1. セグメント利益の調整額△3,670,245千円には、セグメント間取引消去40,773千円、のれん償却額△102,148千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△3,608,869千円が含まれております。全社費用は、主に親会社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「医療機器販売事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当第2四半期連結累計期間における当該減損損失の計上額は、9,916千円であります。